

■薬害行政の過ちを繰り返さないために！女子中高生たちを守ってください！！

## 「子宮頸がんワクチン」定期接種化に待ったを!!

平成 24 年 12 月 自由民主党 日野市市議会議員(自民クラブ所属) 池田利恵

平成 22 年 11 月に全国で女子中高生を対象に任意接種が始まった子宮頸がんワクチン。効果が定かでないばかりか、重い副作用に苦しむ人が続出しています。厚労省・地方自治体はその実態を調べようとせず、地方交付税措置をテコに平成 25 年度からは定期接種化に踏み切ろうとしています。民主党政権下、誤った政治主導で始まった過ちを、政権与党・自民党は今こそ正していかなければなりません。

### 【Point I】

☆子宮頸癌は減っています！なぜワクチン接種義務化を急ぐのですか？事実を見てください。効力が確定している期間に死亡者がいません。↓

#### ①東京都南多摩保健所事業概要 平成 22 年版

<日野市統計データ拡大版>

表 1-3 主要死因別死亡数（簡単分類）〔日野市〕 P10

死因 \ 年齢	～59 歳	60 歳～
子宮の悪性新生物	0 人	7 人

参照「事業概要 平成 24 年版」『東京都南多摩保健所』、

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/minamitama/jigyuu/24gaiyo.html>

☆若年層に、全国でもほとんど死亡者がいません 1%もないのが現状です↓

#### ②『平成 21 年人口動態統計』下巻

<全国人口動態統計データ拡大版>

厚生労働省大臣官房統計情報部編

死因 \ 年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
子宮頸の悪性新生物（人数）	0	24	166	347	451	488	1043

参照「統計表一覧」『総務省統計局』、

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?\\_toGL08020103\\_&listID=000001101598&disp=Other&requestSender=dsearch](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001101598&disp=Other&requestSender=dsearch)

上記 URL から、政府統計総合窓口統計表一覧下巻 1-1→(1)→CSV→分類コード C-53 子宮頸の悪性新生物、という順でアクセス。

**☆昭和から平成にかけて、年々子宮頸癌死亡者は減り続けています↓**

### ③『平成 21 年人口動態統計』 上巻

<全国人口動態統計拡大版>

厚生労働省大臣官房統計情報部 1 編

参照「統計表一覧」『総務省統計局』、

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?\\_toGL08020103\\_&listID=000001101598&disp=Other&requestSender=dsearch](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001101598&disp=Other&requestSender=dsearch)

上記 URL から、政府統計総合窓口統計表一覧上巻 5-24→CSV→分類コード 02113 子宮の悪性新生物、という順でアクセス。

子宮の悪性新生物による年度別死亡者数(厚労省調・女性人口10万人に対する比率)

昭和25年	昭和45年	昭和35年	昭和55年	平成2年	平成12年	平成21年
19.7	14.9	12.1	9.2	7.4	8.1	8.6

**☆昭和から平成にかけて、ワクチンの効力がある年代に死亡者がほとんど存在しません↓ (ワクチンの効果は6～8年程度しか確定してない)**

### ④年代別にした子宮頸癌による死亡者数 (昭和 33 年～平成 23 年)

	昭和 33 年	昭和 43 年	昭和 53 年	昭和 63 年	平成 10 年	平成 20 年
～19 歳	3	2	0	0	0	0
20～29 歳	20	15	8	5	21	21

参照「がん情報サービス」『国立がん研究センターがん対策情報サービス』、

<http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html#01>

上記 URL から、1.死亡データ ファイル名 cancer mortality(1958-2011).xls→読み取り専用→下部 number→2054 行目、という順でアクセス

## 【Point II】

☆予防効果のデータはありません！ 「検証のために実施」と厚労省も答弁↓

### ⑤慶応大学医学部婦人科腫瘍研究室

参照「婦人科腫瘍研究室」『感染制御部門』、

<http://www.obgy.med.keio.ac.jp/04research/07gy3.html>

### ⑥厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会

平成22年12月16日

ワクチン評価に関する小委員会第3回ワクチン評価に関する小委員会 資料5-3  
ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン 作業チーム報告書（案）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000yw9d-att/2r9852000000ywhh.pdf>

資料6-3 P2 L17

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000yw9d-att/2r9852000000ywho.pdf>

## 【Point III】

☆臨床試験を途中でやめたと厚労省が言っている！

安全確認できてないワクチンを、未来を担う女生徒に接種↓

### ⑦厚労省薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会資料

平成21年8月31日

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/txt/s0831-1.txt>

○ の7番目 L10

## 【PointⅣ】

☆杉並区議会で虚偽の発言↓杉並区保健所長 深澤啓治氏

(杉並区健康推進課長 大澤章彦氏は厚労省予防接種部会にも参考人として参加)

「中学お祝いワクチン」自治体の先頭に立った杉並区で、副作用被害者なしと発言  
深澤所長は菓子折りを持って被害者宅に謝罪している。

## ⑧第9回厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会 議事録

平成22年6月16日 杉並保健所健康推進課長の大澤章彦参考人

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000u7ca.html>

平成24年第2回定例会,06月08日-09号

杉並区議 そね文子発言

杉並保健所長 深澤啓治発言

## 【PointⅤ】

☆ 副反応「不明者」放置！被害者の声を聞いて下さい。

☆ 学校に行けず、字も書けなくなった子供たちが！↓

## ⑨平成23年度第3回子宮頸がん等ワクチン予防接種

### 後副反応検討会 平成24年1月16日

資料2-3

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000020b41-att/2r98520000020b9n.pdf>

下記 表2より

間代運動(てんかん症状)→意識消失した約20%がてんかんを発症。↓

表 2 意識消失時の状況・患者の状況（接種後 30 分までに発現した症例）

	あり		なし		不明・未記入	
	例数	割合 (%)	例数	割合 (%)	例数	割合 (%)
血圧低下の有無	78	20.5	49	12.9	254	66.6
間代運動（痙攣を含む）の有無	72	18.9	187	49.1	122	32.0
転倒等の二次的被害の有無 <sup>※1</sup>	38	10.0	235	61.7	108	28.3
点滴・酸素投与等の処置	101	26.5	199	52.2	81	21.3
失神発現のリスクファクター（既往歴、合併症等）の有無	52	13.6	329	86.4	-	-
接種時の緊張、不安等の有無	151	39.6	75	19.7	155	40.7

※1 二次的被害の詳細：おもに頭部、顔部、顔面または背部などの打撲（転倒前の姿勢は半数以上が座位であった）

その他、鼻骨骨折（座位）、頭部打撲部の血腫形成（立位）、MRI にて軽度の脳挫傷あり（立位）、顔を切り縫合が必要となった（立位）、下顎部の打撲裂傷と擦過傷および歯の欠け（座位）

## ⑩平成24年度第2回子宮頸がん等ワクチン予防接種

### 後副反応検討会 平成24年10月29日

資料 1 - 1 子宮頸がん予防ワクチン（サーバリックス）の副反応報告状況について  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002n1p8-att/2r9852000002n1qp.pdf>

子宮頸がんワクチン（サーバリックス分）の副反応報告は、厚生労働省で現在発表されている最新情報（平成 24 年 8 月 31 日報告分まで）では、販売開始からの累計 663 万回の接種回数に対し、医療機関からの報告数 956 人（うち重篤者 85 人（1 名の死亡））あり、「関連あり」として報告された分として、511 万回の接種回数に対し、医療機関からの報告数 591 人（うち重篤者 57 人死亡 0 人）である。また、もう一つの子宮頸がんワクチン（ガーダシル分）の副反応報告は、同様の最新情報で 103 万回の接種回数に対し、医療機関からの報告数 132 人（うち重篤 11 人死亡 0 人）である。「2010 年 6 月 グラクソスミスクライン サーバリックス R 市販直後調査 最終報告」にある 11 万人接種に対し 3 例の失神事例とあるものより明らかに報告頻出数が多いと言わざるを得ない。

### 【Point VI】

★子どもは実験台ではない！勇を鼓して直ちにワクチン接種中止を！！

## ⑪子宮頸癌予防対策強化事業

平成 22 年、2010 年 8 月、厚労省健康局総務課がん対策推進室

<http://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/jigyoku/10jigyoku01/dl/youshi/1-11-5.pdf>